

さわやかな季節になりました。身も心もかるく動いてみませんか。いろいろな活動にご参加お待ちしております。

## お知らせ

- ・アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」5月12日(土) 神戸女学院(すでに定員に達しました)
- ・チャリティ・オープンガーデン 5月19日(土) 正司邸
- ・コウノトリの郷との交流 5月26日(土) 豊岡
- ・2012年度通常総会 6月2日(土) 草志舎
- ・英国ナショナル・トラストの旅 6月10日～19日 スコットランド
- ・ワーキングホリデー支援コンサート 7月21日(土) 芦屋仏教会館

## 東日本大震災被災者学生を招待するワーキングホリデーを企画!

2010年に続いて2回目のワーキングホリデーですが、今回は東日本大震災の被災者学生をいわき市から招待して、阪神間の学生と一緒にワークとホリデーを楽しんでもらおうという活動を企画しています。六甲山荘で心やすらぐ夏のひと時をすごしていただけるよう皆でお迎えしましょう。

月日 2012年7月30日(月)～8月2日(木) (3泊4日) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

事前の企画、準備、当日の運営など、大勢の力が必要です。

また学生たちの往復の旅費、こちらでの滞在費などはすべて当協会の負担で行います。そのための募金もいたします。7月にはコンサートを開催し、その収益もあてます。皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

### 予告1

### 2012年度通常総会

2012年度の総会を以下のように開催します。アメニティ 2000 協会の活動について考え、決定する大事な集まりです。どうぞご参加ください。総会のあとは食事をしながら会員の交流会をします。また会場には皆さんの作品も展示いたします。こちらにもご参加をお待ちしています。

日時 2012年6月2日(土) 午前10時半～

場所 草志舎(阪急西宮北口駅より徒歩3分)

内容については同封の招集通知あるいはメールでご案内いたします。正会員の方で不参加の方は必ず委任状をお送りくださいますようお願いいたします

### 予告2 ワーキングホリデー支援コンサート

月日 2012年7月21日(土)

場所 芦屋仏教会館

出演 安永早絵子(マリンバ)

城村奈津子(ピアノ)

収益はワーキングホリデーの費用にあてます。詳しいご案内は来月号ですが、ご予約にいらしてください。

### 予告3 コウノトリの郷との交流～田植え体験

今年も豊岡のコウノトリの郷で農業体験をします。

月日 2012年5月26日(土)

場所 豊岡市立地域農業管理施設

内容 田植え、コウノトリの郷公園訪問

参加費 会員 1,500円 一般 2,000円

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。

### 「天神崎の自然を大切にする会」との覚書

2011年12月に訪問した和歌山県田辺市の「天神崎の自然を大切にする会」と友好協定の覚書を締結しました。『今後とも積極的にナショナル・トラスト運動に寄与するため、相互の緊密な連携を図り、情報交換及び人的交流を積極的に深めるとともに、友好活動を協力して推進していくこととします。』という内容です。

日本のナショナル・トラスト運動の草分けともいえるべき団体と友好関係をすすめていきましょう。

### ご報告1 建物の保存を考える in Tokyo 4月7日(土) 横浜旧居留地

今回の横浜は旧居留地と旧日本人街を歩きました。まず宣教師へボンのゆかりの横浜指路教会の内部を見学し、そのあと関東大震災や戦災をくぐりぬけた貫禄あるビルがあり、キング、クイーン、ジャックとしゃれたあだ名がつけられた塔があり、観光客でにぎわう煉瓦倉庫ありと歴史が身近な港町の姿を楽しみました。午後は関東地区会員の杉浦さんと島本さんの豊富な知識で案内していただきました。皆さんありがとうございました。

横浜指路教会→



## 【コラム】

## イカ墨パスタとマルゲリータ

谷本 雅憲

あれは、7年前のイタリア旅行のときでした。H 旅行社主催の「イタリア周遊 10 日間の旅」。ミラノから入って、コモ湖、ロミオとジュリエットのベローナ、ベネチア、シエナ、ピサ、フィレンツェ、ローマ、ポンペイと廻って最後がナポリ。ナポリでは「イカ墨パスタ」と「ナポリ風ピッツァ」が旅行会社の売り。ところが、この期待の「パスタとピッツァ」がなんともひどい代物が出てきたのです。

「イカ墨パスタ」は生白い薄味のパスタが、また、「ピッツァーマルゲリータ」は裏が真っ黒に焦げたピザ。「マルゲリータ」ではなく「マルコゲータ」と言った方がよいピザが出てきました。焦げた部分を除けながら 1/3 ぐらい食べたところでギブアップ。

憧れのナポリに幻滅し、翌日向かったカプリ島の「青の洞窟」も天気が悪く、波が高いためボートが出せずこれも中止。旅の前半・中盤は、期待通りの満足できるものだっただけに、最後のナポリでヒドイ目にあつたのでした。帰国してナポリ料理の話をする、会社の女性陣から「それなら、大阪に美味しいイカ墨とピザを食べさせてくれる店がありますよ」・・・と。教えられたのが、福島の「パポッキオ」と本町のお店。早速その二つの店に行きましたが、これぞイカ墨パスタ、これぞナポリ風ピザというのが出てきて大満足。イタリアまで行かなくとも美味しいナポリ料理は大阪にあつたのです。『食は大阪にあり』でした。また、パポッキオのオーナーはナポリ出身のイタリア人で、奥様は日本人ということも後で判明。それ以降、何回この店に通つたことか。今ではオーナーの ENZO (エンツォ) さんとも仲良くさせてもらっています。

六甲山荘の石窯でピザを焼いたらという話が出てきたとき、アメニティのメンバーで勉強会と称してパポッキオで美味しいイタリアンを戴いたのは今年の楽しい思い出の一つです。行ってみたいという方があれば何時でもご紹介しますのでお声を掛けてください。(スケジュールが合えばお供させていただきます)

### ご報告2 アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」開講 4月14日(土)

本年度の新規事業であるアメニティ・アカデミーですが、東京からの参加者が6名、総勢31名という盛況でした。第1回はアメニティ・アカデミー院長の宮田満雄先生の開講の辞があり、山形政昭先生を講師にお迎えし、研究の新成果などもご披露いただく濃密な内容で、一同満足。次回への期待が一層高まりました。セミナー後の懇親会でもそれぞれがヴォーリズや近代建築への思いを語り、楽しい時でした。



### ご報告3 和のこもの展 4月25日(水) 26日(木) 草志舎

今年も開門前から人がならぶ人気ぶりでした。着物地をつかったタペストリー、袋物類、はがき、置物などなど色遣いの美しい作品がつつぎと売れていきました。押し花の作品は売り切れて、2日目は現場での製作販売となりました。協会が担当した喫茶もお昼ごはんが2日で90食ちかく売れて、スタッフはうれしい悲鳴となりました。皆さん、お疲れ様でした。

### 「お薦めの本」 マーク・ボイル著 吉田奈緒子訳 「ぼくはお金を使わずに生きることにした」

堀川 正子

数年前から人生の終り支度を始めた私は、物は極力ふやさないように生活している。本も「積ん読」本の切り崩し、子供達のお下がり、友達から借りるですませしてきた。この本は、新聞の書評を読み、刺激的なタイトルにひかれて、久し振りに購入した本である。

著者は1979年アイルランド生まれ、大学で経済学を学んだ後渡英、オーガニック食品業界を経て2007年ブリストルでフリエコノミー(無銭経済)運動を創始。2008年11月末から一年間、お金を一切使わずに暮らす実験を始めたのである。

不用品交換で手に入れたトレーラーハウスに太陽光発電パネルをとりつけ、半自給自足の生活。手作りストーブで調理、生活用品は植物、廃材から作り、衣類はリサイクルを活用し、移動手段は自転車をという生活である。「お金を一切使えないとなつたとたん、普通ならちょっとした買い物ですむことが、気の遠くなるような大仕事になってしまう」という文章に象徴される悪戦苦闘の中で、同じ志を持った仲間達との出会いと協力、そして思いがけない幸運にも恵まれるのである。

金なし生活の一年がドキュメンタリーふうに進んでいくので、物語的に面白いところはないのだが、家族とクリスマスを祝うためにヒッチハイクでたどりついた故郷の海で沐浴する場面は秀逸である。

著者は完全菜食主義者でもあり、真似をするというレベルの話ではないのだが、東日本大震災後に出会った一冊である。(紀伊國屋書店)

<次回は来嶋泰志さんをお願いします>

**町並み研究会 「住吉・阿倍野を訪ねる」  
～ 邸宅と長屋めぐり～に参加して**

原田 寿美子

この地区は好きで数回散策したことはありますが、本格的に巡るのは初めてで期待でわくわくしておりました。そして、実際に今回の副題にあるとおり、和洋各々の大邸宅と庶民的な長屋が点在していてバラエティに富んだ興味深いコースでした。

それにしても歩きました、歩きました。午後1時に阪堺電鉄（通称”チン電”）「天王寺」駅を出発して、終点の地下鉄「昭和町」駅近くで解散したのはもう日も暮れた午後7時頃でした。私の歩数計で19150歩、予定時間を2時間オーバーして計6時間に及ぶ密度の濃いコースでした。

先ずチンチン電車に乗って住吉大社へ。権禰宜さんのていねいな説明と、通常の参拝では見られない隅々までの見学に始まり、帝塚山地区の邸宅の建ち並ぶ中を歩いて途中カフェ「FORMA」で小休止、チーズケーキをいただいて元気を回復した後、阪南町に昭和の初めに建てられ今も和洋様々な形で残っているたくさんの長屋を見学しながら町内を歩きました。

その中で今回一番私の印象に残り、目のうろこが落ちる思いをしたのが最後に訪ねた寺西家阿倍野長屋でした。ご主人の寺西興一さんが詳しくわかりやすく説明して下さったところによると、寺西さんは築70年を過ぎたご両親所有の長屋を相続されることになり、老朽化した木造長屋を鉄筋コンクリートのマンションに建て替える計画を進められていた時、「いい長屋なので登録文化財に申請したら？」と勧められ、そのようにした結果長屋として全国初の登録文化財に登録されたのです。そして、70年ぶりに改装工事を行った4軒長屋はおしゃれなレストランに変身しました。

そこで私が再認識させられたのは木造住宅の寿命です。鉄筋は錆びて強度がなくなり70年ほどで崩壊せざるを得ないのに比べ、木は日常管理をていねいにしてやれば数100年の寿命があるということです。そういえばあの「宮大工の西岡常一さんも「木は鉄を凌駕する」と言っておられます。飛鳥・奈良時代の寺院が今も立派に残っている事を思えば納得できる事ですが、一般的に身近な住宅を考えると、鉄は強いけれど木は朽ちるから弱いものだ、と思いがちです。そして、経費の面でもマンションを建設していたよりはるかに収益があがったそうです。実際の数字を示して説明して下さるのを聞いて驚きました。日本古来の住宅の良さをもっと見直さなければ・・・とあらためて感じました。そして、六甲山荘を初めとするヴォーリスの木造建築に魅かれる私自身の心にも納得した次第です。

今回の町並み見学は企画して下さった澤さんの熱い思いが伝わってくるコース設定と内容の濃さでした。期待した以上の満足感をいただいて深く感じたいです。そ

して運営に関わって下さった皆さまにも、ありがとうございました。



←阪南町の長屋

**建物の保存を考える in Tokyo : 横浜旧居留地**

龍神 啓子

30年前、横浜を半日程観光したことがあります。中華街が大きいだけで料理の味は神戸の方が上だし、横浜は大したことないなあと思っていました。ところが最近、横浜の街がいいと友人が言うので、見学会に参加しました。

案内していただいたのは、横浜指路教会、馬車道、赤レンガ倉庫、象の鼻パーク、横浜三塔、開港記念会館、インド水塔、氷川丸、ホテルニューグランド、どこも面白かったのですが、特に興味をもったのが馬車道と象の鼻パークです。

馬車道は、洋風の歴史的建造物が点在する通りで、威厳のある神奈川県立歴史博物館（旧横浜正金銀行本店）、円柱のある石造りの東京芸大大学院（旧富士銀行横浜支店）、3階までが白い石造りでその上階がガラス壁の日本興亜馬車道ビル（旧川崎銀行横浜支店）等々が、周囲のおしゃれな雰囲気にマッチしていました。

象の鼻パークは横浜港発祥の地に造られ、広場の地下に発見された線路の軌道と転車台はガラス越しに見れますし、広場を取り囲むスクリーンパネルの照明の色は夜になると精神を沈静させる青色に変わるなど工夫されています。

パンフレットによると「市民からの保存運動をきっかけに、横浜では1980年代に『歴史を生かした街づくり要綱』を決め、歴史的建造物の保存活動を開始」し、歩道拡幅や広場整備も行われたそうです。

横浜旧居留地は気持ちのいい空間でした。日本大通りの銀杏が黄葉する頃、また訪れようと思います。



旧横浜正金銀行本店

.....

4月1日から公開が再開されました。初日から早速待ちかねたお客さまが来られ、以来客足が絶えません。ただ思わぬ事態がおこりました。3月30日の開場準備の日に母屋の水道を開栓したところ、台所の壁のなかで水漏れしていることが分かったのです。早速業者に調査してもらい、建物を傷めない方法で工事をしてもらった結果、水道は使えるようになりました。山上の他の施設でも水道管破裂の被害があったそうです。今年は雪は多くなかったが寒さが厳しかったことが実感されます。



ご報告

町並み研究会 アンケート結果の発表

3月に皆さんにお願いしました町並み研究会の再訪希望をお尋ねするアンケートの結果をご報告します。再訪希望の町並みのトップ5は次のとおりです。

- ・ 京都・冷泉家、住友有芳園 10票 皆さんのご希望を参考に今後
- ・ 三重県・関宿 8票 の町並み研究会の企画をすす
- ・ 吹田市・旧西尾家住宅ほか 7票 めていきます。ご協力ありが
- ・ 滋賀県・住友活機園 7票 とうございました。
- ・ 大阪市・綿業会館、浪花教会ほか 7票

\*会員の店ご紹介\*

会員の井上恵子さんのお店です。

「エル・ソレアード」

阪急甲東園駅西、ローソンを南へ50m、レンガ色のビルの1階。

TEL 0798-51-7747

玄米や有機野菜を中心にした身体にやさしいメニューが並んでいます。会員には割引があります。

募金のご報告〜3月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

\*六甲山荘ナショナル・トラスト募金

《3月合計7,500円 2011年度累計904,229円》

一般寄付を合せて2011年度寄付金総額  
1,596,760円

\*教育募金

《3月合計5,000円 2011年度累計95,000円》

名簿掲載について

総会にあわせて会員名簿を発行します。名簿への不掲載を希望される方はご連絡ください。5月15日までにご連絡のない場合は掲載させていただきます。名簿は掲載者のみにお送りいたします。なお前回不掲載の方は今回も同様にいたします。

＜事務局スタッフからひと言＞ 澤 直さん

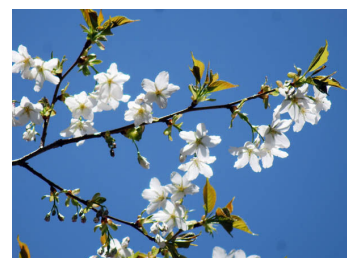
毎週水曜日の午後、大阪市内から事務所へ顔出して、皆さんへの情報発信、皆さんとの交流に(共・響・協・驚・興・供・恭・饗)鳴を感じながら、組織運営のピンからキリまでの諸作業に勤んでいます。「戯を見てせざるは遊なきなり」(井上ひさし)の気分で道楽しています。皆さんも、六甲山荘をはじめ諸行事にスタッフとしても参画され、道楽されることを大いに期待しています。

(先般の町並み研究会で、マイク説明したことから「マイケル・澤」という綽名をいただきました。)



ヴォーリス六甲山荘の花〜ヤマザクラ

六甲山荘のヤマザクラを見るポイントは北庭から“屋根越しに”が一番です。とても高く伸びているので、下から見上げたのでは十分に花を堪能できません。青空を背景に花が雲のように広がっているのを見ると、六甲山にも春が来た実感します。



ヤマザクラ (撮影・岡本正美)